

令和3年度 当初予算の 概要を お知らせします

図財政課 32-2020

当初予算の総額【824億987万円】

会計名	予算額	会計名	予算額
一般会計	457億 300万円	下水道事業会計	79億9,597万円
特別会計		水道事業会計	68億3,992万円
介護保険	107億1,453万円	工業用水道事業会計	5,272万円
国民健康保険	91億9,333万円	財産区会計	3,375万円
後期高齢者医療	14億2,298万円		
土地開発公社清算事業	3億4,671万円		
食肉処理センター	7,878万円		
公共用地取得事業	1,106万円		
奨学金	1,034万円		
磯野計記念奨学金	678万円		

当初予算の概要

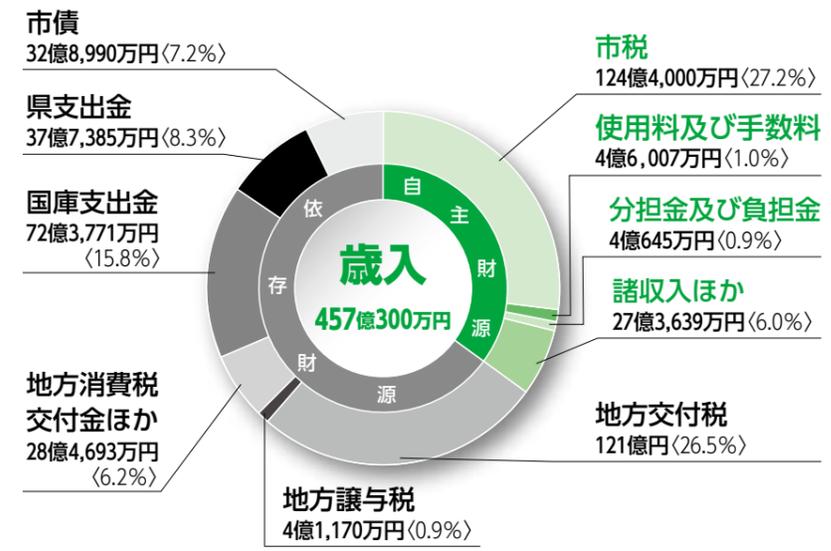
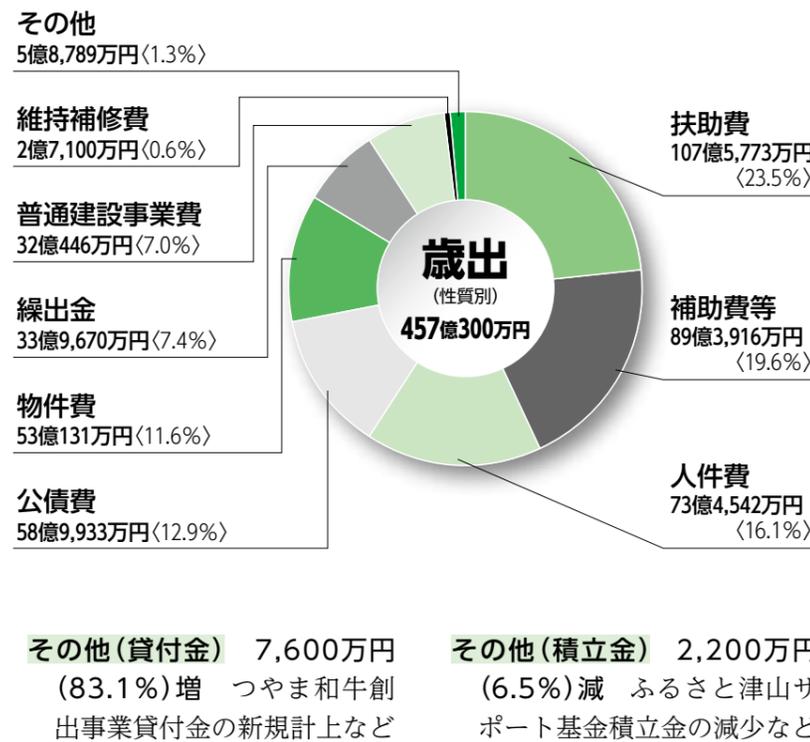
令和3年度当初予算は、令和元年度に策定した「財政構造改革に向けた取組方針」に基づき、事務事業の見直し、公民連携、民間活力の導入検討などを実施し、必要な財源の確保のため、財政調整基金などを活用して予算を編成しました。

厳しい財政状況の中で、「第5次総合計画中期実施計画主要事業」や「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」を着実に推進しながら、新型コロナウイルス感染症の影響に対応していくため、重点的な予算配分を行いました。

一般会計の内訳

歳出の特徴(前年度比)

- 扶助費** 1億6,800万円(1.5%)
減 子ども医療費、生活保護費の減少など
- 補助費等** 5億7,200万円(6.8%)
増 新型コロナウイルス対策事業継続支援事業、地域商社事業の新規計上など
- 人件費** 1億5,200万円(2.0%)
減 定年退職者数の減少など
- 公債費** 1億1,600万円(1.9%)
減 市債償還額の減少など
- 物件費** 4億6,200万円(8.0%)
減 ごみ焼却施設解体撤去事業、ガラスハウス管理運営委託費の減少など
- 維持補修費** 4,100万円(17.8%)
増 道路維持管理費の増加など



【一般会計当初予算 前年度比】 2億4,000万円(0.5%)減

- 自主財源** 160億4,291万円 (35.1%)
市が独自に調達するお金
- 依存財源** 296億6,009万円 (64.9%)
国や県の基準に基づき、交付されたり割り当てられたりするお金

歳入の特徴(前年度比)

- 市税** 5億4,000万円(4.2%)
減 市民税、固定資産税、都市計画税などの減少
- 地方交付税** 7億4,000万円(6.5%)
増 地方財政対策の見直しによる増額など
- 地方譲与税・地方消費税交付金ほか** 8,800万円(2.6%)
減 自動車重量譲与税や地方消費税交付金の減少など
- 国庫支出金** 4億900万円(6.0%)
増
- 県支出金** 2,700万円(0.7%)
減
- 市債** 3,100万円(0.9%)
減 臨時財政対策債が増加する一方、建設事業債、借換債などが減少

雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり

つやま産業支援センター企業サポート事業 1億円

企業の経営力強化、創業・新事業の創出、人材育成の支援などに取り組みます。

つやま和牛ブランド化事業 8,417万円

つやま和牛の生産振興と流通量の増加によるブランド化を進めるため、導入・肥育資金貸付事業に新たに取り組み、安定した出荷頭数の確保を目指します。

「春はつやま」誘客促進事業 2,500万円

伝統工芸、食、歴史的建造物などの津山遺産を中心に、イベントや観光地などを一体的にPRし、観光客の増加、リピーターの獲得に取り組みます。また、津山まなびの鉄道館5周年記念事業を実施します。



子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり

子ども医療費公費負担事業 4億1,685万円

子どもたちの健やかな成長を支援するため、中学校卒業までの子どもの通院・入院にかかる医療費の自己負担分を無料化しています。

確かな学力向上対策事業 5,738万円

児童・生徒の学力向上のため、わかる授業推進事業、英語力向上事業、学級編制弾力化事業を総合的に行います。また、学校事務の改善や効率化を進め、児童・生徒にきめ細やかな対応ができるよう、学校運営を支援するアドバイザーを増員します。

津山城跡保存整備事業 6,562万円

「二の丸東側石垣修理工事」「三の丸厩堀上面排水整備工事」などを行います。

